

島根県警察採用試験のご案内

令和6年度～

警察官採用試験が変わりました！

警察官B試験は、従来の教養試験の代わりに
SPI3(基礎能力検査)を実施します。
※警察官A試験は、従来どおり教養試験を実施

警察官B(大学卒、高校卒業程度)採用試験申込受付中/

申込受付期間：5/20(月)～6/19(水)

第一次試験 7月14日(日)・第二次試験 8月下旬



SPI3が試験項目に
なったことで、
だれでも受験
しやすくなったよ！

警察官募集

ちどり



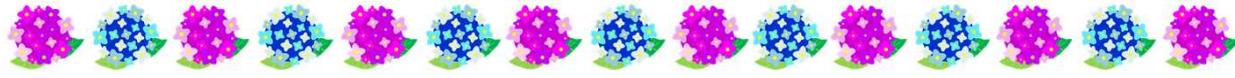
採用に関する問い合わせ

- 島根県警察本部
0852-26-0110
- 島根県警察
ホームページ

- 採用フリーダイヤル
0120-032-764
- 島根県警察採用係
LINEアカウント



QRはこちら！



若者の「大麻」乱用急増中！！



近年「大麻には害がない。大麻は安全。大麻は依存症にならない」という間違ったイメージのせいで気軽に大麻に手を出すケースが後を絶ちません。大麻を乱用すると、他者や物に対し攻撃的になる、幻覚幻聴等の影響で自傷行為や交通事故を起こす等、心身に深刻で様々な悪影響を及ぼします。島根県内においても、令和5年は20歳代の大麻乱用者が増加しています。

松江警察署
28-0110
内中原交番
21-4502
警察相談
31-9110

松江署ホームページはこちら



STOP!! 不法滞在・不法就労

日本には、多くの不法滞在者・不法就労者が存在しているとみられます。治安を悪化させる一因にもなっている不法滞在や不法就労を防止するために、ご理解とご協力をお願いします。

- ◎ 不法滞在・不法就労の疑いのある者を見つけた場合は、警察署へ情報提供をお願いします。
- ◎ 事業者の方は、外国人を雇用しようとする際は、在留カードの有無や就労制限・資格外活動許可の有無等を必ず確認しましょう。

内中原交番の活動



4月26日、島根県歯科技術専門学校で不審者対応訓練を行いました。

訓練では110番通報訓練等を行いました。

何かあった際は、**110番**をしましょう。

みんなで防災

正しい情報を
聞くこと・知ること
が大切



非常持ち出し品の準備

- 避難場所生活で最低限必要な物品を、いつでも持ち出せるように準備
- ラジオ・懐中電灯などは壊れていないか確認

非常持ち出し品チェック表

飲料水	<input type="checkbox"/> 水一人3リットル×3日分	衣類	<input type="checkbox"/> 肌着(1から2着)
	<input type="checkbox"/> 缶詰(缶切り)		<input type="checkbox"/> 防寒着
食料品	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン(カップ麺)		<input type="checkbox"/> ちり紙、タオル、バスタオル
	<input type="checkbox"/> ビスケット、乾パン、チョコレート		<input type="checkbox"/> 生理用品
電気器具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	日用品	<input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく、携帯用燃料
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ		<input type="checkbox"/> 軍手、厚手の靴下、カイロ
	<input type="checkbox"/> 予備の電池		<input type="checkbox"/> ロープ、笛、レインコート
医療品	<input type="checkbox"/> 常時服用している薬、常備薬	乳児等	<input type="checkbox"/> ミルク、哺乳びん
	<input type="checkbox"/> 消毒液、さず薬、脱脂綿		<input type="checkbox"/> 紙おむつ、おしりふき
	<input type="checkbox"/> ガーゼ、包帯、三角巾	その他	<input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑、保険証写
	<input type="checkbox"/> ばんそうこう など		<input type="checkbox"/> 連絡先一覧

① 過去の災害から学びましょう

- ・ 災害は忘れたころにやってきます。昔から地域に住んでいる人などに、過去に経験した災害などについて聞いてみましょう。

② 非常持ち出し品を準備しておきましょう

- ・ 備えあれば憂いなし。非常時に持ち出す最低限の必需品は、リュックサックに入れ、すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。

③ 家具の転倒防止対策を行いましょ

- ・ 過去の大地震では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになり、亡くなられています。「家具は必ず倒れるもの」として、固定するなど対策を講じましょう。

④ 避難場所・避難経路を確認しておきましょう

- ・ 避難場所への安全な経路を確認しておきましょう。避難する際は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めるなど二次災害の防止に配慮しましょう。

⑤ 安否情報の確認方法を家族で決めておきましょう

- ・ 家族が別々の場所にいる場合の発災時の安否確認に備え、日頃から災害伝言ダイヤルによる確認方法や集合場所などについて、家族と話し合いましょ。

⑥ 災害情報に関心を持ちましょ

- ・ 災害から身を守るためには、正しい知識を身につけることが重要です。平素からテレビやラジオなどで常に新しい情報を入手しましょ。

⑦ 早めの避難を心がけましょ

- ・ 災害はあっという間に事態が急展開します。津波の到達時間、避難に要する時間、一緒に避難する家族等の体力を考え、早めに避難することが大切です。